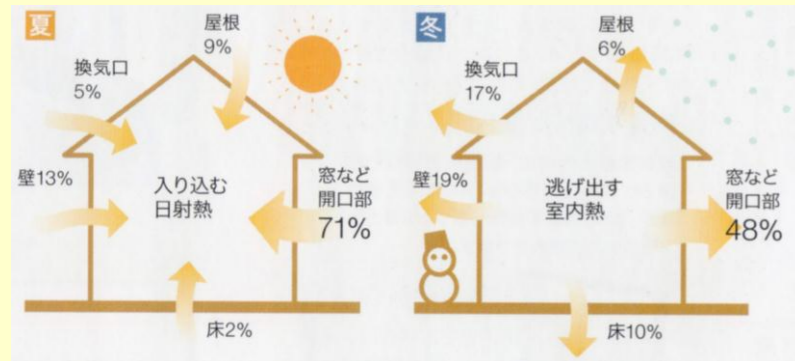


ご存知ですか？ 窓が省エネの重要ポイントであることを！

今シーズンは積雪も寒さも例年とは桁違い！暖房を切るなど、考えられないくらいです。でも、気になるのは暖房に掛かるランニングコストではないでしょうか。そこで、今一度、お住まいの状況をチェックしてみましょう！…といってもご心配なく。あれこれ見て廻る必要はありません。チェック項目はただ一つ、窓ガラスです。



この窓ガラス、左図をご覧頂ければお解かりのように、室温の変動に最も影響を与えるものです。冬はせっかく暖めた室内温が窓ガラスから放出され、夏は逆に冷やした室内温に窓ガラスから日射熱が入り込み、年間を通じて冷暖房に掛かるランニングコストを左右しています。さらに、この季節は特に、室内の水蒸気が冷えたガラス表面に付着して結露が発生しやすくなります。見た目も悪いうえに、カビの発生原因ともなります。

さあ、窓ガラスをよく見てください。もし、窓ガラス一枚で内と外とを隔てていたら要注意です。このようなご家庭へ、「家づくり工房かんだ」はエコガラスへの取替えをご提案します。



わずか1~2日程度の工事で冷暖房効率を向上し、左の写真のように結露の発生を抑制、しかもエコポイントがついてきます！

最小限のコストで大きなメリット。魅力いっぱいのエコガラスについての詳細は、「家づくり工房かんだ」まで、ご相談・お問い合わせください。

“おんぼら〜っとするひとときを”

かんもくmail

平成23年
2月

いつもお世話になっております。「家づくり工房かんだ」神田木材です！今月も、皆様のお役に少しでも立てるような情報をお送りしたいと思いますので、最後までお読みいただけたらうれしいです(^_^) /

ことわざを 知る

百聞は一見にしかず

中国の漢、宣帝の時代。羌というチベット系の遊牧民に派遣した使者が高圧的なやり方をして失敗し、紛争となりました。宣帝は反乱の平定を、過去に数々の手柄を上げた老将、趙充国に任せることにしました。宣帝は、趙充国に紛争の鎮定について尋ねました。

「將軍（趙充国）は、反旗を翻した羌の異民族の勢力がどれほどであると思うか。また反乱を鎮圧するには、どれほどの兵力が必要であろうか」

この下問に対して、趙充国は答えました。

「百聞は一見に如かず。軍事は現地を遠く離れては、はかりがたいものです。願わくは、私が自ら金城にかけつけ、現地の地形を図に描き、それから方策をたてまつりたく存じます」

趙充国は敵地へ赴き現状をつぶさに調査し、反乱を起こした羌族の部族間でも、足並みがそろっていないことを見抜き、いたずらに力で行く戦術を行わず、反乱の中心勢力のみを敵視し、その周辺部族には、再び漢帝国に帰参するよう懐柔しました。また、自軍の兵士たちを各地に分散して農耕に従事させ（屯田兵）、現地で食料物資を確保すると共に、自軍の編成はもとより、全軍が消費する食料や馬の飼料から屯田による開墾面積や切り出す材木まで、現地の様子を具体的な数値で把握した情報に基づいて、いつまでに敵軍を崩壊させられるかを予測しました。その結果、異民族の反乱は瓦解し、漢帝国は勝利をおさめることができました。

何度も聞くより、自分の目で見て確かめる方がよい、そして、それを持って判断を下すことがよりよい結果を導くことができる…。

情報化社会において、印刷物のもとより、インターネットを利用して様々な情報を入手することができますが、それらの情報は、発信者の思惑で如何様にも操作可能です。見た目に美しい文章や画像が溢れる、選り取り見取りの住宅情報。

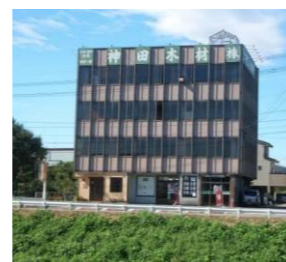
でも、ちょっと待ってください！そんなことよりも、実際に使われている材料や仕上がり具合、どんな人が家づくりにどのように携わっているのか、近隣とトラブル無く工事ができているか、肝心なところこそ家づくりの現場で確認しておく必要があります。

「百聞は一見にしかず」、そのお手伝いも私たちにとって大切なことと考えています。

40数年もの間、家づくりに携わってきた神田木材では、建築士で不動産コンサルティング技能登録者が分かりやすく土地探しや建物についての疑問などご相談のっております。もちろん宅建免許、建設業の許可もあり土地・建物合わせてのアドバイスをさせていただきます。

お気軽に下記まで電話・FAX・メールでどんどん聞いてください。

〒921-8044
石川県金沢市米泉町10丁目39-5
フリーダイヤル 0120-483-146
TEL 076-249-6211
FAX 076-249-6204
URL <http://www.kandamokuzai.co.jp>
Mail kanmoku@kandamokuzai.co.jp



家づくり工房 かんだ

— 神田木材株式会社 —



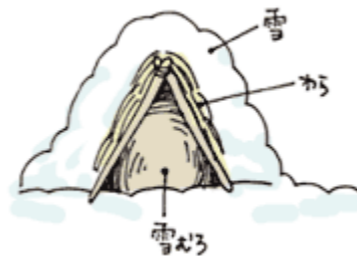


猛暑の次は厳冬。昨年の 12 月の下旬からずっと雪が続き、例年に比べて除雪の回数も掛かる時間も増し、融けて消えてしまうだけの『厄介物』なんかもういらない！…と叫びたくもなります。

でも、この雪を『厄介物』どころか貴重な素材として活用する知恵も、昔から伝わっています。それが雪室(ゆきむろ)です。

農作物をわらで包んで、その上に雪を被(かぶ)せると、雪室のでき上がり。昔はこうして、作物の少ない冬の間の食料を、大切に保存してきました。まさに自然の冷蔵庫であり、現在も一部の地域の家庭でこの雪室を用いて農作物を貯蔵しています。さらには、昨今のエコを反映し、自然を利用した合理的な方法として、大規模な農作物の貯蔵施設の中に除雪で集まった雪を溜め込み、捨て場に困る大量の雪を冷媒として有効活用するという、一石二鳥の効果。

あらためて、静かに降り積もる雪を眺めながら、この雪とエコな付き合い方をじっくりと考えてみたいものです。



とも子育て

寒い季節の早寝早起き

寒い上に、朝なお暗い今日この頃。なかなか起きてこない子供にやきもきし、起こせど起こせど起きる気配も見せず、暖かな布団に包まれぐっすり気持ちよさそうに眠る子供の顔を見るにつけ、この季節の朝の辛さを毎日感じておられる方も多いことと思います。

寒い季節の通園・通学のためには、しっかりと朝ごはんを摂って身体を温めておきたいものです。そのためにも余裕を持って起きていないといけません。でも、わかってはいてもできないのがこの季節。

やはりここは、約束した時間に寝る・起きるということを徹底するしかないようです。たとえ、勉強や宿題の途中でも、時間がきたら寝る。続きは翌朝起きてから。残りを片付けるためにも早起きするしかありません。子ども自身が、起きなければならないという意識を少しでも持つことができれば習慣づけるきっかけになります。

朝は親として、子供がどんなに眠くても約束の時間に断固として起こす。この辛く厳しい戦いを、親として必ず勝利しなければなりません。我が子のために！

その大前提として、親はしっかりと早起きしていなければなりません、が…



いちごのスープ仕立て

- ① いちごはきれいに水洗いして水気をふき取り、ヘタの部分を取り取って 5mm 厚さに切る、ボウルに入れて半量のグラニュー糖をまぶしてしばらくおく
- ② ①のいちごから水分が出てくれば裏ごしする
- ③ 鍋に水と白ワインを入れ、中火にかけて煮立て、②を加えて再度煮立てば、水溶き片栗粉を加えてとろみをつけて残りのグラニュー糖で味を調える
- ④ ③のあら熱をとってから冷蔵庫で冷やし、器に盛って食べやすい大きさに切ったモッツアレラチーズを散らしてミントを飾る

<材料>・・・(4人分)

いちご	1パック
グラニュー糖	30g
水	3/4 カップ
白ワイン	1/4 カップ
水溶き片栗粉	片栗粉…大さじ 1/2、水…大さじ 1
モッツアレラチーズ	50g
ミント	適量



ポイント！

オードブルにも食後のデザートにも美味しくいただけます！

かんもく お役立ちノート 地上デジタル放送

もう既に皆さんご存知のことと思いますが、今年の 7 月 24 日に現行のアナログ放送が終了となります。エコポイント制度もあってほとんどのテレビが地デジ対応に切り替わり、対策も万全、…でしょうか？



テレビ音声の受信可能なラジオはごく普通のラジオになってしまいますし、古いビデオデッキでは地デジチューナまたは地デジ対応テレビと接続しないと録画できません。そのためには配線の変更が必要以上に、ビデオデッキだけでは予約録画も難しくなります。そして、意外と忘れられているのが車載テレビの地デジ化です。7 月 24 日を迎える前に、一度、お部屋の中だけではなく、納戸・物置から車の中までじっくりと見渡す必要があるようです。

とはいえ、テレビの入れ替えはやむを得ないとしても、それ以外の機器までもとなると躊躇してしまいますね。まだ使えるし、昔録画したテープもいっぱいあるし、もったいない！でも使い続けるとなるとそれなりの手間が掛かるのも事実です。今一度下記のサイトでご確認を。



総務省 地上デジタル放送のご案内・・・地上デジタル放送全般についての情報

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html

日本ビクター(株) アナログテレビ放送終了に関するお知らせ・・・現行機器の取扱いについての情報

<http://www.jvc-victor.co.jp/support/analog-end.html>